

21 創造運動課外学習 (地域とのふれあい)

管内の4小学校5年生が総合学習の一環として米作り(田植え、稲刈り、自然乾燥)を体験をしました。5月25日～6月4日の間にそれぞれの小学校で地域のおばあさんやおじいさん、資源保全会、水土里ネット稲川の役員が協力し、泥んこになりながら田植え作業を体験しました。

特に川連小学校においては、今年度から稲川養護学校の子供達にも田植えと稲刈りに参加して頂き、交流を深める事ができて本当に良かったと思います。

収穫したお米については、それぞれの学校でおにぎり等にして試食会を行いました。また駒形小学校では、今年度も農村と稲作文化を伝えるため、地域の有志の皆さん、資源保全会、水土里ネットが協力し5年生が収穫した稲わらを使っての「縄ない」を4年生から6年生の児童が1月25日に体験しました。特に上手に仕上がった児童の作品は同じメンバーの指導の下、2月14日に行われる「雪中田植え体験」でしめ縄として活用する予定です。

9月10日には、三梨小学校4年生の校外学習「ふるさとの水」で、10月2日には川連小学校4年生の社会科「きょう土を開く」の学習のまとめとして与惣右衛門堰を実際に見学し、堰の取入口や途中の流れを見学することで先人の業績(苦労や思い)やふるさとを大切にしようとする心を育てる事を目的に水土里ネットが講師役を努め現地での学習をしました。実際に一番難儀した蛇の崎の大岩の前では「たがねとかなづち」を使っての体験もしてもらいました。51年間もよく掘り続けたものだと感じていました。10月6日には三梨小学校の学習発表会に招待され、4年生による「与惣右衛門堰物語」の劇を鑑賞させて頂きましたが、大変上手で感動しました。また、今年で9回目になる「ゴミ捨て標語コンクール」には管内の5小学校、2中学校の児童、生徒から小学生の部352点、中学生の部312点合計664点の応募がありました。優秀な作品を看板にして掲示し、ゴミ捨て防止への啓発普及に努めています。



活動体制	
実施主体	水土里ネット稲川 (稲川土地改良区)
後援・連携	管内小、中学校、県雄勝地域振興局農村整備課、雄勝農業共済、JAこまち、皆瀬川筋漁業協同組合
実施期間	H24. 5. 25～H25. 2. 15
参加者	管内5小学校児童、管内2中学校生徒、父兄など延べ 540名
報道関連	秋田魁新聞、NHK、雄勝農業共済、水土里ネット稲川HP
活動実施年数	11年目(H14年～)
連絡先	〒012-0105 湯沢市川連町字上平城120番地 稲川土地改良区 TEL. 0183-42-2116
その他	21創造運動秋田県知事賞(H18) 県土連会長奨励賞(H18) 東北地方奨励賞(H21) 東北地方大賞・21創造運動大賞(H22)

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット稲川 (加藤 満)

○活動の目標及び達成率	目標 「農業体験を通じて子供たちの豊かな心を育む」ため、学校と連携し各種学習会を実施				
	達成率 85%				
○活動に対する評価	・資源保全会等の関係者が参加することにより、学校と地域の関係も深まり、テレビ・新聞等マスコミでも多く取り上げられ地域への浸透が図られた。				
判定基準	自己判定 (達成度)		判定基準	自己判定 (達成度)	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	A	マスコミ(3社)外3機関へ発信、本区HPでPRが行われた
①役員・組合員の参加	A	役員が田んぼの提供、稲作指導に積極的に参加している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	A	資源保全会等の役員、構成員に理解を呼びかけている	①他組織との連携構築	A	地域・学校・各種団体との連携が定着してきた
2. 活動の意欲性について			②地域住民等の理解	A	子供たちを通じて父兄や地域住民の関心が高まっている
①基本理念の設定	B	各種団体や学校との協調を図りながら進められている	③施設管理・地域資源の保全強化	B	資源保全会との多様な関わりが、強化に繋がってきている
②地域の歴史等の伝承	A	子供たちの授業に先人の功績について取り入れられている	④運動の地域づくりへの関わり	A	学校だより等の発信が、世代を越えた関わりに繋がっている
③運動の先駆性	B	「ゴミ捨て防止標語コンクール」などでエコ発信している	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	資源保全会と運動を連携させた効果は大きくなっている
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	運動と各組織が共同できる部分があり、間接的であるが貢献している
①運動の継続性	A	学校からの要請もあり、これからも継続していきたい	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	地域への広がり浸透は見られ、定着している	・地域資源保全会を中心にして水土里ネットの連携を進め		
③運動の計画性	B	年間事業として行われてきている	地域づくりに務めたい。		

(自己判定) A: 大いに達成している B: 達成している C: 少しは達成している D: 達成していない E: その他